

# 沖縄県子ども計画(仮称)策定に係る県民アンケート

回答はこちらのQRコードから  
2024年8月31日まで  
<https://questant.jp/q/kodomoplan>



アンケートの対象者／沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳の子どもを持つ保護者

問1. あなたの住んでいる圏域を教えてください。

1. 沖縄本島北部圏域 2. 沖縄本島中部圏域 3. 沖縄本島南部圏域 4. 沖縄離島圏域

問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 18～19歳 2. 20～24歳 3. 25～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳  
6. 50～59歳 7. 60歳以上

問3. あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない

問4. あなたにお子さんはいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問4-1. 問4でお子さんが「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたのお子さんの人数を教えてください。

問5. あなたに兄弟姉妹はいますか。

1. いる 2. いない 3. 答えたくない

問5-1. 問5で兄弟姉妹が「いる」と回答した方にお聞きます。

あなたの兄弟姉妹の人数を教えてください。(ご自身を含んだ数でお答えください)

問6. あなたは沖縄の社会が「結婚、妊娠、子ども、子育てに温かい社会の実現に向かって」と思っていますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問7. あなたは沖縄の社会が「子どもまんなか社会の実現に向かって」と思っていますか。

1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問8. あなたは沖縄県が目指す「誰一人取り残さない子どもまんなか社会」を実現するための施策として何が重要だと考えますか。次の中から、あなたの考えに当てはまるものすべてを選んでください。

また、項目以外の意見がありましたら「その他」にお書きください。

- |   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 1 子ども・若者が権利の主体であることの社会全体に対する周知・啓発             | 14 給付型奨学金                             |
| 2 子どもを安全・安心して育てられる環境の整備                       | 15 雇用の安定                              |
| 3 性や妊娠に関する正しい知識の普及                            | 16 結婚を希望する人へ出会いの場をつくる支援や結婚した時の新生活への支援 |
| 4 障害のある子ども・若者、医療的ケア児等への支援                     | 17 生活困窮者世帯への支援                        |
| 5 保育環境、保育サービスの充実(保育所、一時預かり、病児保育など)            | 18 ひとり親家庭への支援                         |
| 6 保健医療体制の充実(不妊・不育治療含む)                        | 19 労働環境の改善、企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策の充実  |
| 7 小児医療の充実                                     | 20 教育費の支援、軽減                          |
| 8 安心して過ごせる子どもの居場所の設置(子ども食堂、学童保育、児童館、児童センターなど) | 21 男性の育児休業の取得促進                       |
| 9 子育て家庭などの育児不安に対する相談・援助や親子が気軽に集うことができる場の提供    | 22 育児休業中の所得保障の充実                      |
| 10 相談体制の充実(いじめ、不登校、中退予防、就労・復学支援など)            | 23 3人以上の子どもが居る世帯(多子世帯)への支援の充実         |
| 11 悩みや不安を抱える若者やその家族に対する相談・支援体制の充実             | 24 子どもの貧困解消に向けた支援員の配置                 |
| 12 ヤングケアラーへの支援                                | 25 県民運動としての子どもの貧困解消に向けた取組の推進          |
| 13 学習支援                                       | 26 その他( ) 27 特にない                     |

問9. 問8で選択した中から、とくに重要だと考えるものを3つまでを選んでください。

問10. あなたが考える、沖縄県の子ども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さない子どもまんなか社会」を実現するために必要なことについて、自由にご意見をお書きください。

問11. 「誰一人取り残さない子どもまんなか社会」を実現するために、あなた自身ができることについて自由にご意見をお書きください。

# 沖縄県子ども計画(仮称)策定に係る県民アンケート

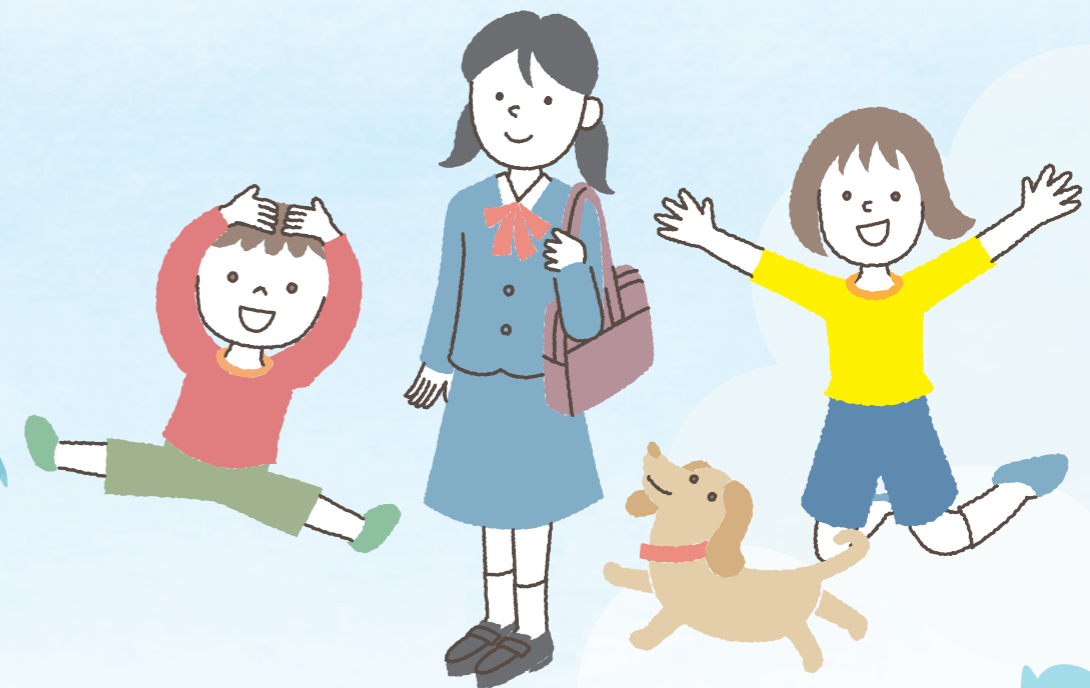
2024  
8/31  
まで

「誰一人取り残さない子どもまんなか社会」の実現のためにあなたの声を聞かせてください。回答はこちらのQRコードから→



【アンケートの対象者】

沖縄県に住む18歳以上29歳以下の若者及び0～17歳の子どもを持つ保護者



アンケートの趣旨

沖縄県では、社会の一番の宝である子ども達が生き生きと暮らせる「誰一人取り残さない子どもまんなか社会」の実現を目指し、これまで取り組んできた「子どもの貧困対策」を含む子ども施策を一体的に取りまとめた「沖縄県子ども計画(仮称)」を策定する予定です。

その計画の策定にあたり、計画の対象となる子ども・若者及び保護者の意見を子ども計画へ反映させるための取組として、県民アンケートを実施しております。沖縄県の子ども達の未来がより良く明るいものになるよう、皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

アンケート内容(県計画)に関するお問い合わせ先

沖縄県子ども未来部子ども若者政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL: 098-866-2100

アンケートフォームに関するお問い合わせ先

一般社団法人Co-Link(コリンク)

〒901-2134 浦添市港川1-17-3-203 TEL: 098-943-8938  
Mail: kodomoplan@co-link.okinawa



沖縄県



沖縄県は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



# 沖縄県が目指す「誰一人取り残さないこどもまんなか社会」とは…

1. こどもが意見を表明し、社会に参画する機会が確保される「こどもまんなか社会」
2. すべてのこども達が生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って健やかに成長していける「誰一人取り残さない優しい社会」
3. 将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる社会
4. 安心してこどもを生み育てることができ、仕事と家庭の両立と所得向上が実現できる社会



## 沖縄県の現状と課題

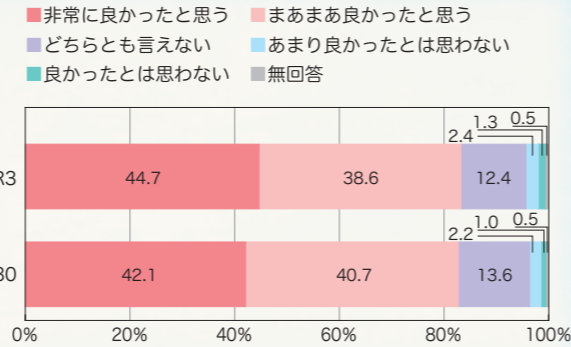


### 県民の自己像

沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったか

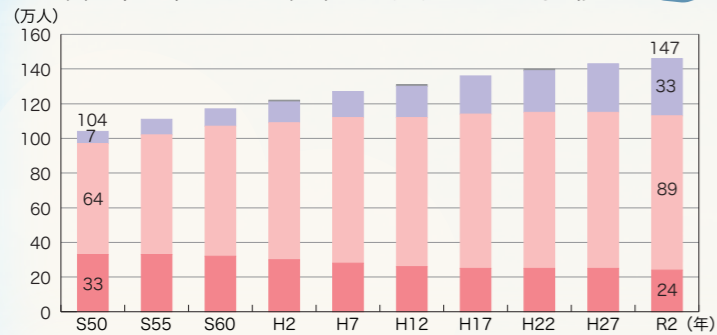
○「非常に良かったと思う」「まあまあ良かったと思う」を合わせ、約8割の県民が沖縄県に生まれ、あるいは生活できて良かったと感じています。

出典：第11回県民意識調査(令和3年8月)



### 人口の現状

沖縄県の総人口・年齢3区分別人口の推移



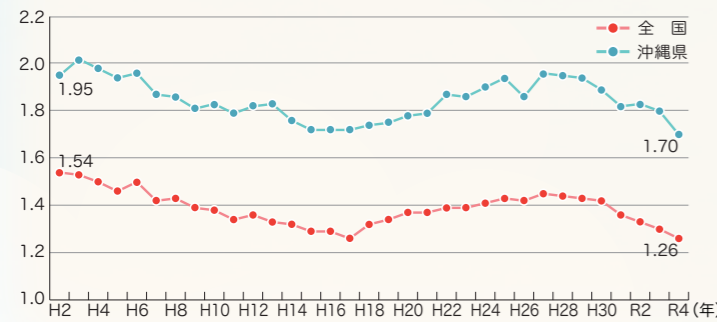
総人口に対する割合(%)

	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
14歳以下	31.4	29.4	27.4	24.7	22.1	20.2	18.7	17.8	17.3	16.6
15～64歳	61.7	62.8	64.0	65.3	66.2	65.9	65.2	64.8	63.0	60.8
65歳以上	7.0	7.8	8.6	10.0	11.7	13.9	16.1	17.4	19.7	22.6

○沖縄県の人口は、146万7千人です。年齢別の人口構成をみると、生産年齢人口(15～64歳)の割合は、平成7年以降減少に転じ、令和2年に60.8%となっています。

出典：国勢調査(昭和50年～令和2年)

合計特殊出生率の推移

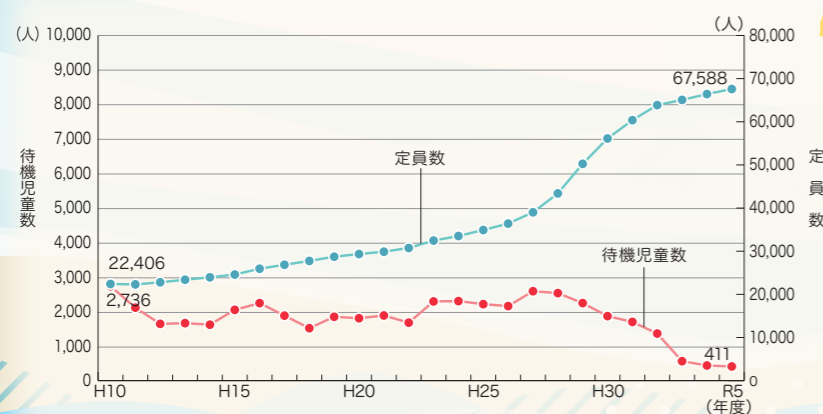


○沖縄県の合計特殊出生率は、令和4年全国平均(1.26)を大きく上回り1.70となっています。平成元年以降は、人口置換水準である2.07を下回る状況が続いています。

出典：人口動態調査(厚生労働省)

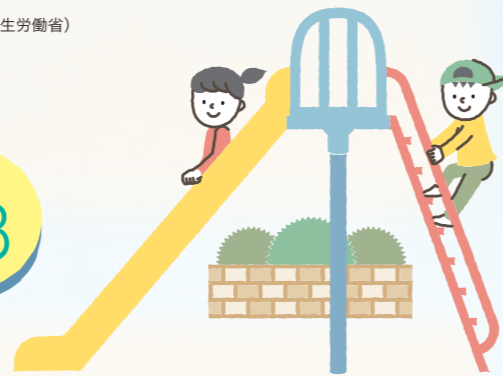
### 子育て環境の現状と課題

保育所等定員数、待機児童数の推移



○令和5年4月現在、保育所等数は892か所で定員数は6万7,588人です。多くの市町村において一定程度整備が進められてきた結果、待機児童数は411人と8年連続で減少しています。

出典：沖縄県こども未来部子育て支援課

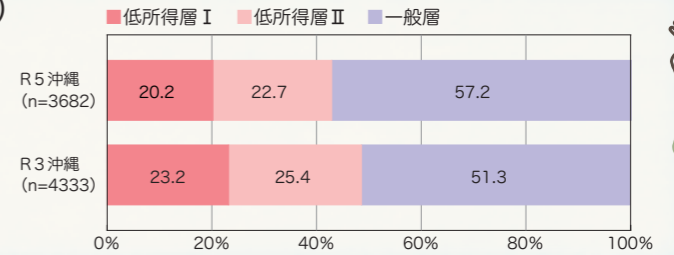


### こどもの貧困を取り巻く現状と課題

困窮世帯の割合(等価可処分所得による分類)

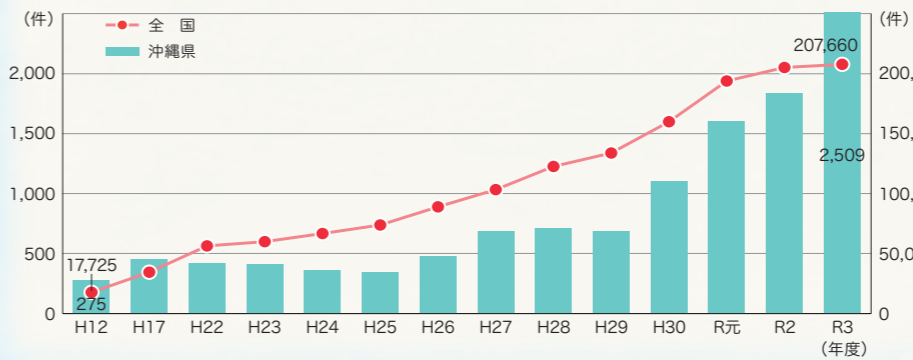
○沖縄県における、令和5年度の困窮世帯の割合は20.2%です。貧困線未満となる低所得層Iは、令和3年度沖縄県調査の23.2%から3.0ポイント減少しています。

出典：令和5年度沖縄子ども調査(0～17歳)



### こども若者を取り巻く現状と課題

児童相談所での児童虐待相談対応件数の推移

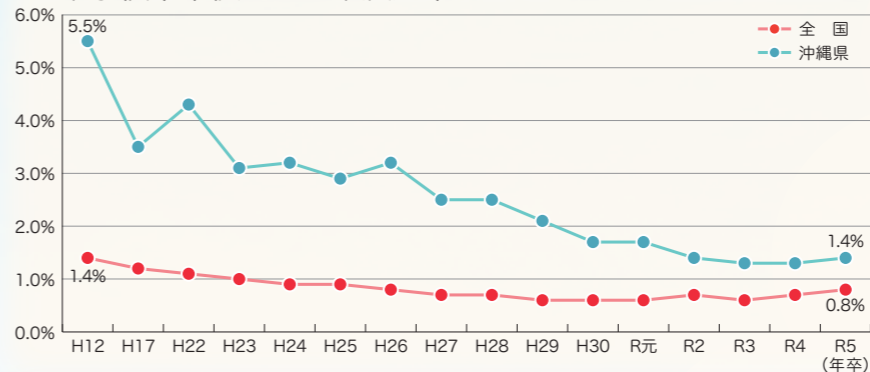


○沖縄県の児童相談所における児童虐待の相談対応件数は、児童虐待防止法が施行された平成12年度(275件)と比べ、令和3年度は約9.1倍の2,509件まで増加しています。

出典：福祉行政報告例(厚生労働省)



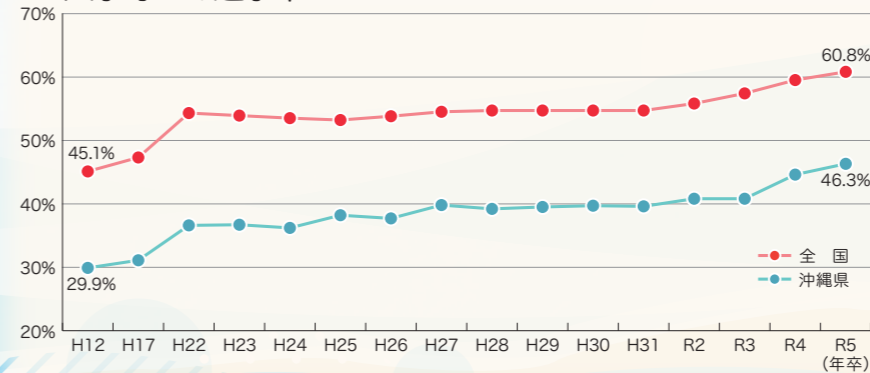
中学校卒業後の進路未決定率



○中学校卒業後の進路未決定率は、平成12年3月卒業生5.5%から、令和5年3月卒業生1.4%と減少傾向にありますが、全国の2倍近い状況です。

出典：学校基本調査(文部科学省)

大学等への進学率



○令和5年3月卒業生の大学等進学率は、全国が60.8%、沖縄県が46.3%となっており、14.5ポイントの差がありますが、進学率は上昇傾向にあります。

出典：学校基本調査(文部科学省)

